



夏休みには!

生徒それぞれの想いを残して一学期が終わりまりました。この間、入学式、体育大会、市中総体、ふるさと学の研究活動などに取り組んできました。一年生にとっては「最初の」ですが、三年生にとつては「最後の」一学期でした。もしも思い残しなどがあれば次のステップ(二学期、または高校生活等)に反省を生かして新しいチャレンジをしてほしいと願っています。

さて、夏休みです。

社会が激変していますので確かな情報や実体験が今まで以上に重要だと言われています。…ということで夏休みには!



- ・高校オープンスクールに行こう。
- ・本を読もう。
- ・ゲーム・スマホは夜の時には止めよう。
- ・「自分から」の習慣を身に付けよう。
- ・家事をしよう。(洗濯、掃除など)

夏休みも充実感のある毎日を過ごしていただけることを期待します。がんばれ! 口之津中学校の生徒たち!

事故を未然に防ぐ

「自分の身は自分で守る」というのが、危機に対する初動の心得ではありますが、まだまだ未熟さが残る中学生です。夏休み中は大人の目が届かないことも多くなりますので、特に次のことについて「こと」が起ころる前に、御家族でよく話し合っておかれることをお勧めします。

- 熱中症の予防と応急処置
- 豪雨・雷雨への安全対策
- スマホ等の使い方・時間
- 性犯罪対策
- ネットトラブル
- ネット詐欺対策



「手は離しても、目は離さず」

今年の夏も暑くなると言われています。ネット犯罪も巧妙になっています。トラブルや依存症を未然に防ぐために、

気になる状況を感じたら一言「大丈夫?」と声を掛けたり、担任に相談したり(必要時は専門機関を利用したり)してください。

登校日や始業式で

生徒たちが元気に明るく登校できるよう、どうぞよろしくお願いします。



《コラム 港町ブルース》

「あいさつ」の大切さ

先日、企業説明会に行ってきました。そこで、いつものように「どんな人材が欲しいですか?」とお聞きしたところ、対応してくださった企業の方のお答えは「あいさつができる人」でした。

話しは大きく飛びますが、私達は「日」という字に敬意を表し、「御^んや^様」をつけて「御日様」と呼びます。「日」は「か」とも読めます。このことから「日」には太陽と母の二つが重なり、「今日は」(こんにちは)は、太陽や母の御様子を伺うものとなりました。そして、例えば「元氣ですよ」と返したら、そうであるなら嬉しいですとなった。これが「さようなら」の語源となった。これは一つの逸話ですが、先日の企業説明会は、あいさつの大切さを改めて感じたひと時でした。



《 主な行事予定 》

- 《7月》
- 21日(日) 県中総体 ~22日(月)
 - ・陸上部…長崎トランス・コスモスタジアム(諫早)
 - ・卓球部…東部スポーツ広場体育館(佐世保)
 - 25日(木) 三者面談(3年生)
保護者面談(1・2年生)
~31日
 - 26日(金) 社会を明るくする運動弁論大会
- 《8月》
- 1日(木) 生徒会サミット~2日
 - 8日(木) 授業日(給食なし)
 - 9日(金) 県民祈りの日、平和集会(給食なし)
 - 10日(土) 学校閉庁日 ~15日

《心に響いた言葉》 「メディア依存から生徒を守るために『メディア使用を制限する日』を作って、家族の協力を得たいのですが、校長先生も協力していただけないですか。」 保体部長の本多さんの言葉から 「もちろん!」



シリーズ「学校教育の充実」

第二期南島原市教育振興基本計画から

第四回：道徳教育・人権教育・平和教育

インターネットや人工知能・ロボットなど、無機質なものが生活の中に入ります。入り込む社会の中で、いつぞう人間の優しさや思いやりなどが大切になってきます。そこで、本市の教育振興基本計画の中では、次のように記されています。

〈道徳教育〉

答えが一つではない道徳的な課題を一人一人が自分自身の問題と捉え、そのことに向き合う「考え、議論する」道徳教育を実践します。

〈人権教育〉

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決を図るための教育を推進するとともに、インターネットやSNSなどによるいじめを含めた人権侵害の実態把握に努め、保護者や関係機関と連携した改善対策を推進します。

〈平和教育〉

学校における全ての教育活動を通して、平和で民主的な社会の形成者として必要な資質と実践的態度を育成します。

男女間格差や豊かさ格差、賃金格差などのほか、「LGBTQ」の課題、そして世界中で勃発している戦争の問題など、私たちは、さまざまな「道徳」や「人権」の課題に取り組む、「平和」を実現させていかなければなりません。

〈そこで、中学校（本校）では〉

上段の課題に対処して、よりよい社会を築く生徒たちを育てるために、私たちは次のような取組をしています。

○「道徳の時間」の授業を充実させるとともに「人権集会」や「平和集会」を行い、よりよい生き方を求めていきます。

○教科授業や各種の行事・生徒会活動等を行いながら、みんなが安心して、自分の能力を高めることができる学校環境をつくらせます。

○心の教室やスクールカウンセラーなどを配置して、いつでも相談できる体制を整えます。

○生活アンケートを実施し、生徒たちの困りごとを早めに見つけて対処する。

○人権や価値観の多様性等に配慮して、制服を変更します。

○学校生活への要望など、生徒の意見を大切に扱い、保護者等の御意見を聞きながらよりよい着地点を求めます。

以上のよう、いろいろな取組をしていますが、**論語の言葉を借りれば、**

「己の欲せざるを以て、人に施すことなかれ」

そして、逆に「自分からしてもらって嬉しいことを人にする」という習慣を身に付けさせたいと考えています。

ふるさとの文化・歴史・人物——口之津中教育の視点から

「アレックスサンドロ・

ヴァリニャーノ」



ヴァリニャーノは、南島原とヨーロッパを結び付けた最も重要な人物です。このことについて、本市ホームページには次のように記述されていました。

ヴァリニャーノは、戦国時代の一五七九年に南島原市の口之津港に上陸し、当時の有馬領を拠点に日本で初めてのヨーロッパ派遣団「天正遣欧使節」派遣や有馬のセミナリヨ創立により多くの国際人を生み出した。当時の日本で多くの困難が待ち受ける中、織田信長・豊臣秀吉などの為政者と渡り合い、日本とヨーロッパを結び付けた。
(南島原市HPから)

ヨーロッパに渡った四人の素晴らしさは、日本という国に敬意を持ってもらえる結果を生み出した。このことが「攻め入ったり、植民地にしよ」とは思っていない」という意識につながったとの説もあります。日本文化の底力を感じたお話でした。

【お知らせ：県中総体について】

来る七月二十一(日)から県内各所で長崎県中学校総合体育大会が開催されます。本校から陸上部と卓球部が出場しますので、御声援、よろしく願います。

- ・陸上競技：長崎トランス・「スモスタジアム(諫早)
 - ・卓球：東部スポーツ広場体育館(佐世保)
- (試合の組合せは県中体連HPを御覧ください)